

草稿(ヨーロッパの芸術と宗教についての内容)

飾ニ供シタルハ耳新しき

事ニ非サルハ別ニ言フマデモなし
(一行削除)

余曾て巴里ニ遊ビ

ルーブルノ画廊ヲ?

徘徊しリヲナルド、ダヒンチ

ガ画キタルモナ、リザノ

肖像ニ對シテ未だ曾

テ躊躇セスンハ非ス

ハ是レ
此 像 ハ一個人ノ肖

像ナルニ過ズト
雖 口虫モ

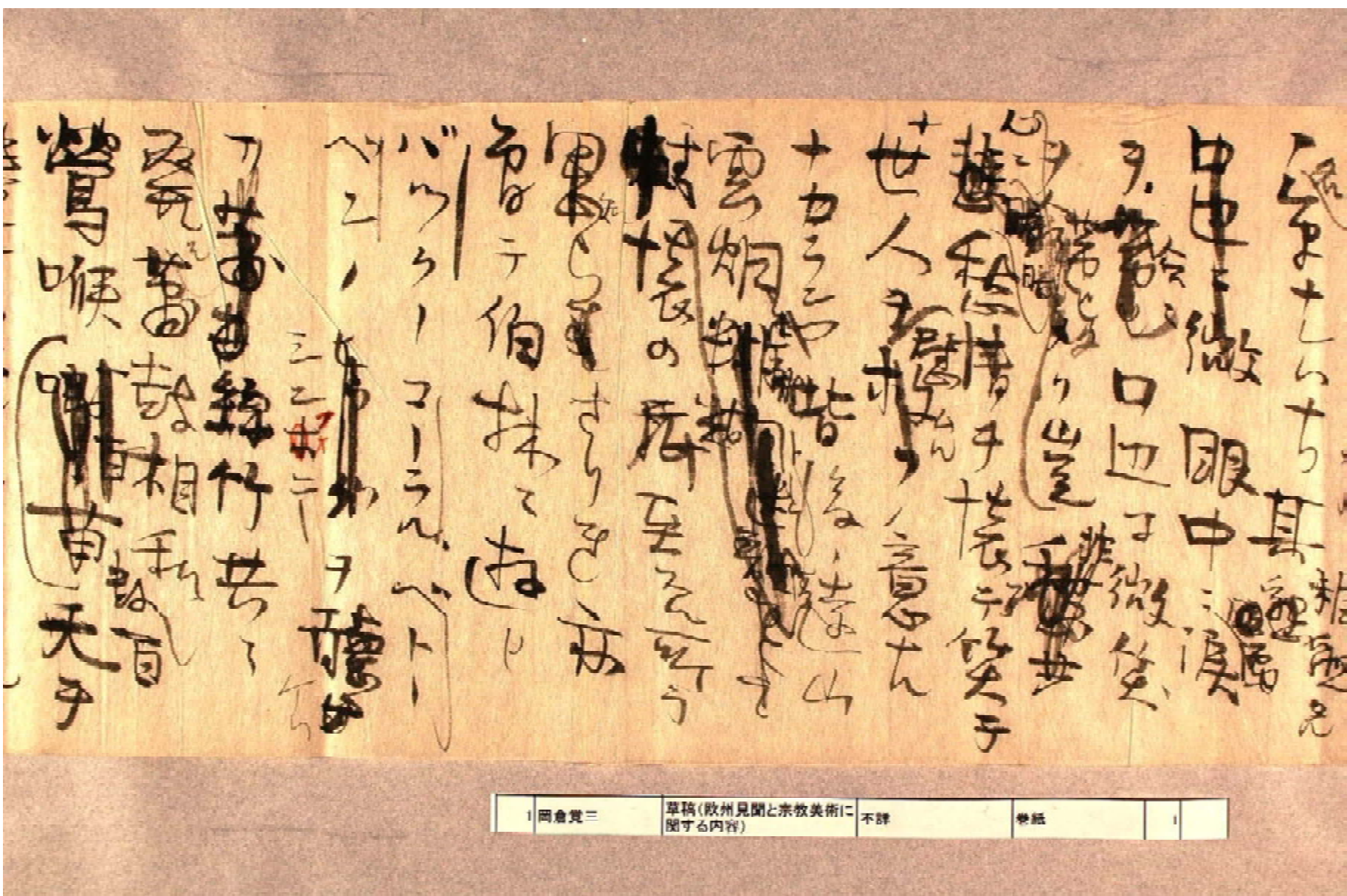
當時基

督教ノ神髓ヲ得タル

一名筆ナレハナリ 其相貌タル

一部削除
眼中ニ涙

一部削除



ヲ含ミ口辺ニ微笑

ヲ帯ヒタリ 豈あに

心ニ暗愁ヲ懷テ笑テいだき

世人ヲ慰ムルノ意ナルなぐさ

ナカラシヤ背後ノ遠山

雲烟模糊トして？

一部削除

情懷の■至スル所ヲ

果？知？らさりき 亦

曾テ伯林ニ遊ヒベルリン

バックノコーラル？ベト？

ベンノシンフォニーヲ聴ケリ

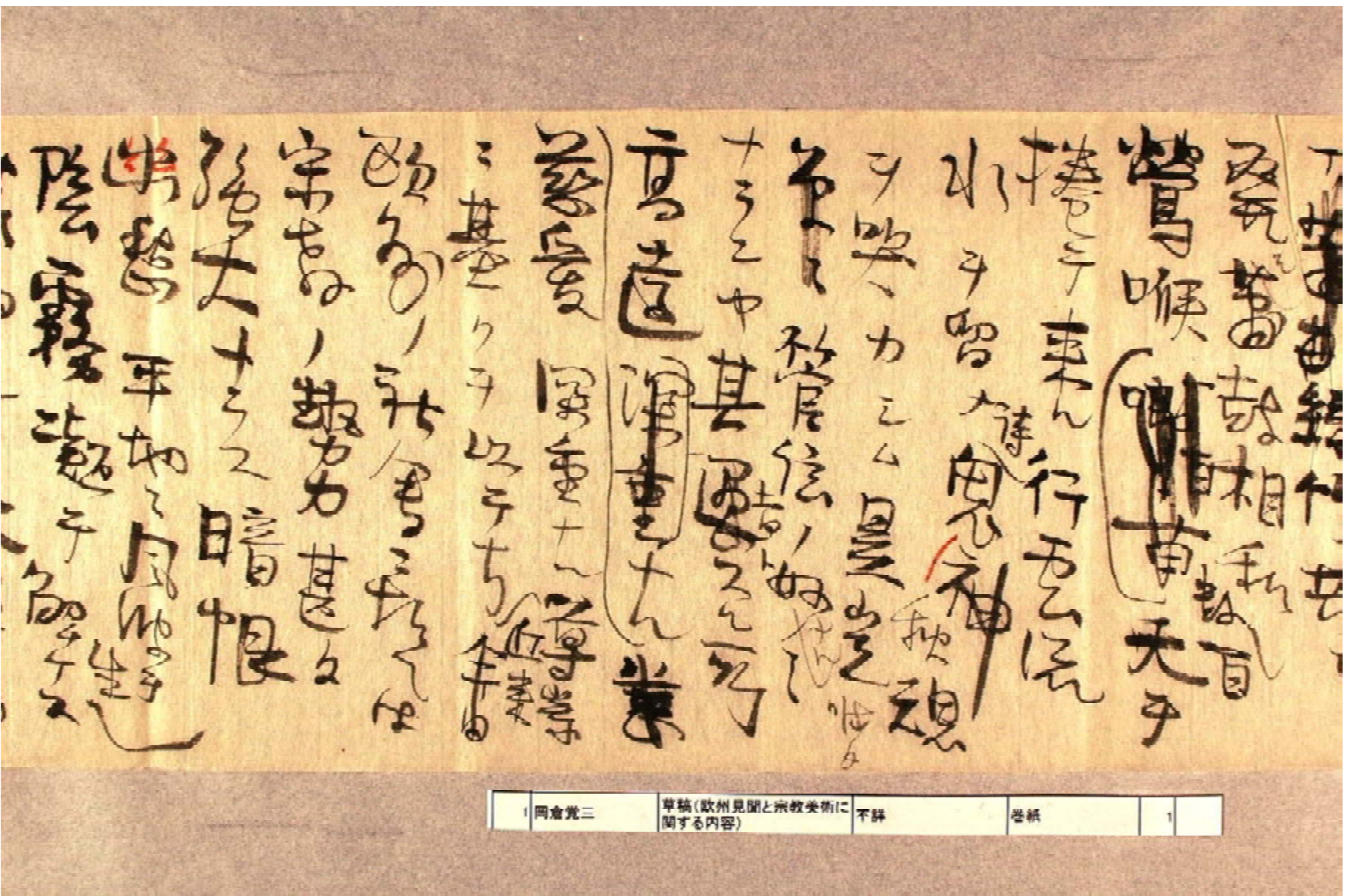
一部削除 線竹共ニ*

発シ萬鼓相和シ数百ばんこ*

*コーラルー||賛美歌

*線||弦楽器。竹||管楽器。
糸竹。

*たくさんのお太鼓。



三光倉岡	草稿(欧州見聞と宗教美術に関する内容)	不詳	巻紙	1
------	---------------------	----	----	---

鶯喉 一部削除 数百天ヲ

捲^{まき}テ来ル行雲流

水ヲ留メ 詩 鬼神秋魂

ヲ哭^なカシム 是 豈唯夕

二字削除 管絃ノ奴 ナルノミ

ナランヤ其 旨ト スル所

高遠ナル 一部削除

慈愛深重ナル尊崇

ニ基クヲ以テナリ 近来

欧州ノ社會ニ於ては

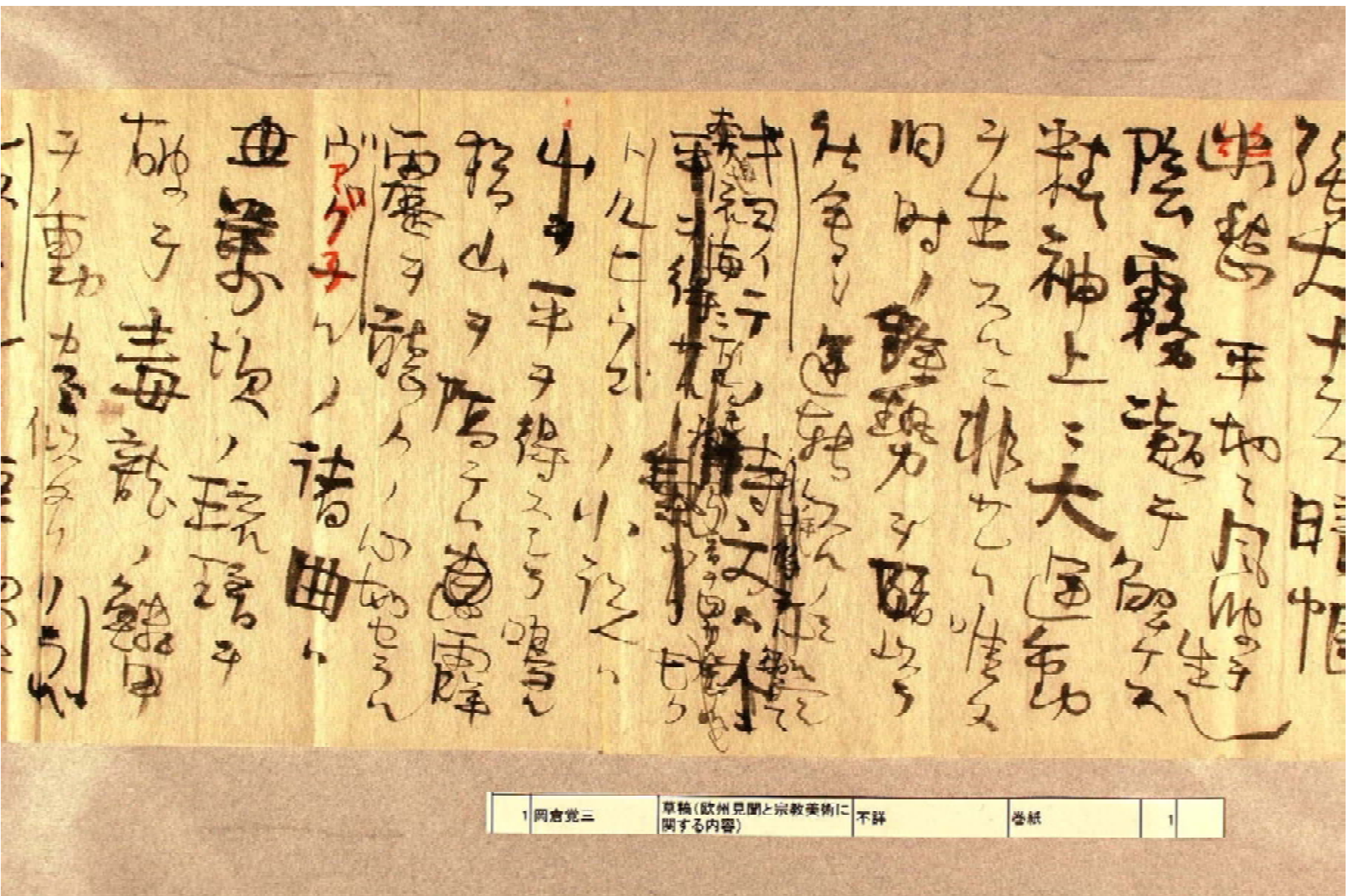
宗教ノ勢力甚ダ

強大ナラス暗恨

幽愁平地ニ風波ヲ

生じ

陰霧凝テ解ケス



精神上三大運動

ヲ生スルニ非サレハ唯又

旧時ノ餘勢ヲ一字削除以テ

社會を??■を??運を??転スルノミナルヘシ

ギョイテテノ詩文ハ

激流ノ海ニ下リシモ ■■■■

一部削除

ビク

トルヒウゴユゴノ小説ハ

二字削除平ヲ得スシテ鳴ル

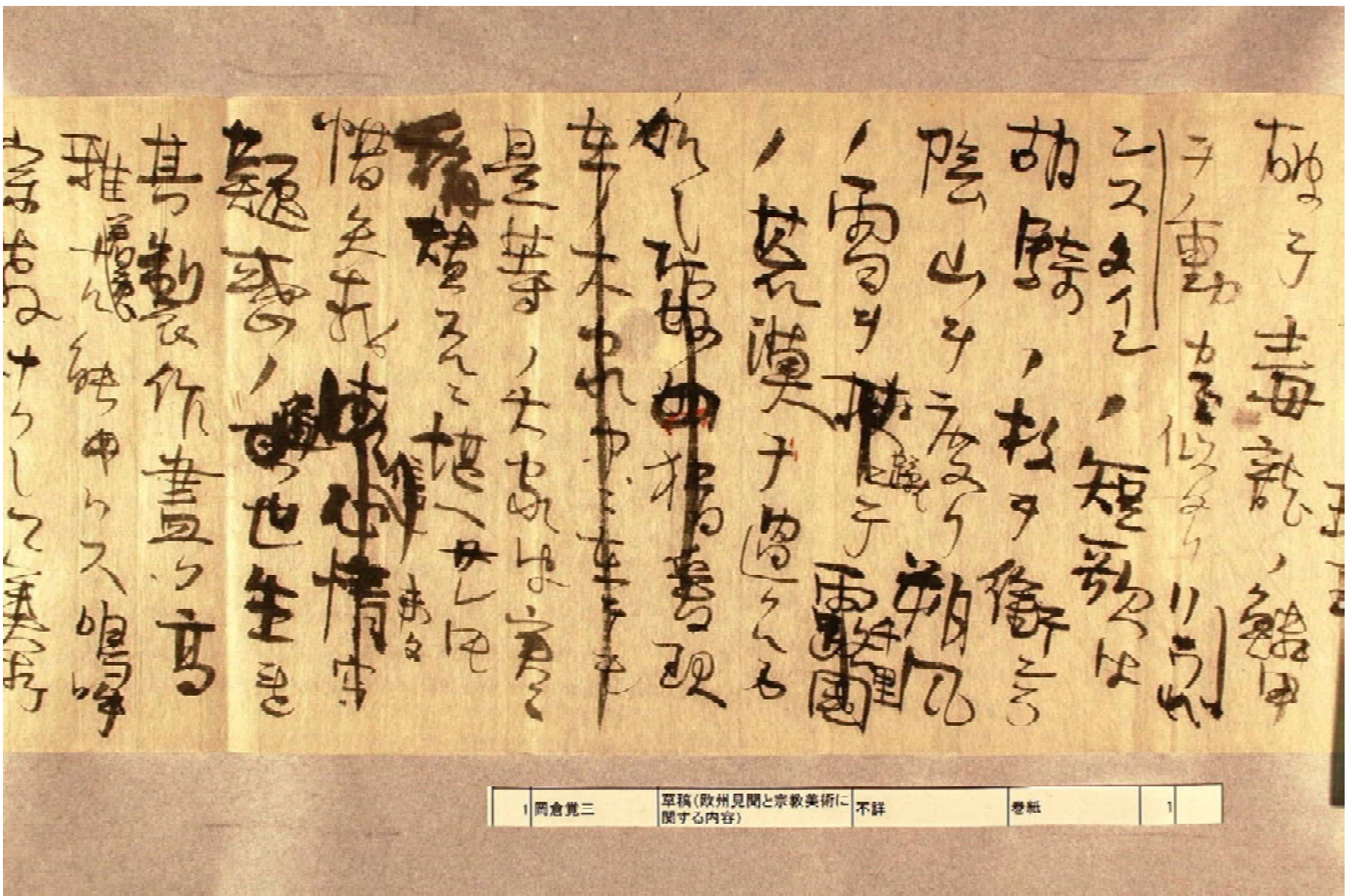
猶山ヲ隔テへきバ霹

靨れきヲ聴クノ心地セラル

ヴァグ子ナルノ諸曲ハ

■萬頃ノ琉璃るりヲ

破やぶテ毒龍ノ鱗甲



ヲ動カスニ似タリ リウビ

ンスタインノ短歌は

*ルビンシュタインは、ロシアの音楽家。

胡騎ノ枚ヲ銜ンテ

*枚||馬などが声を出さないように噛ませる板。銜枚(がんばんい)||ばいをはむ。枚をはませる。

陰山ヲ度リ朔風

*朔風||北風

ノ雪ヲ蹴リテ千里

ノ荒漠ヲ過グルガ

如し 現(二)

一行削除

是等ノ大家は実ニ

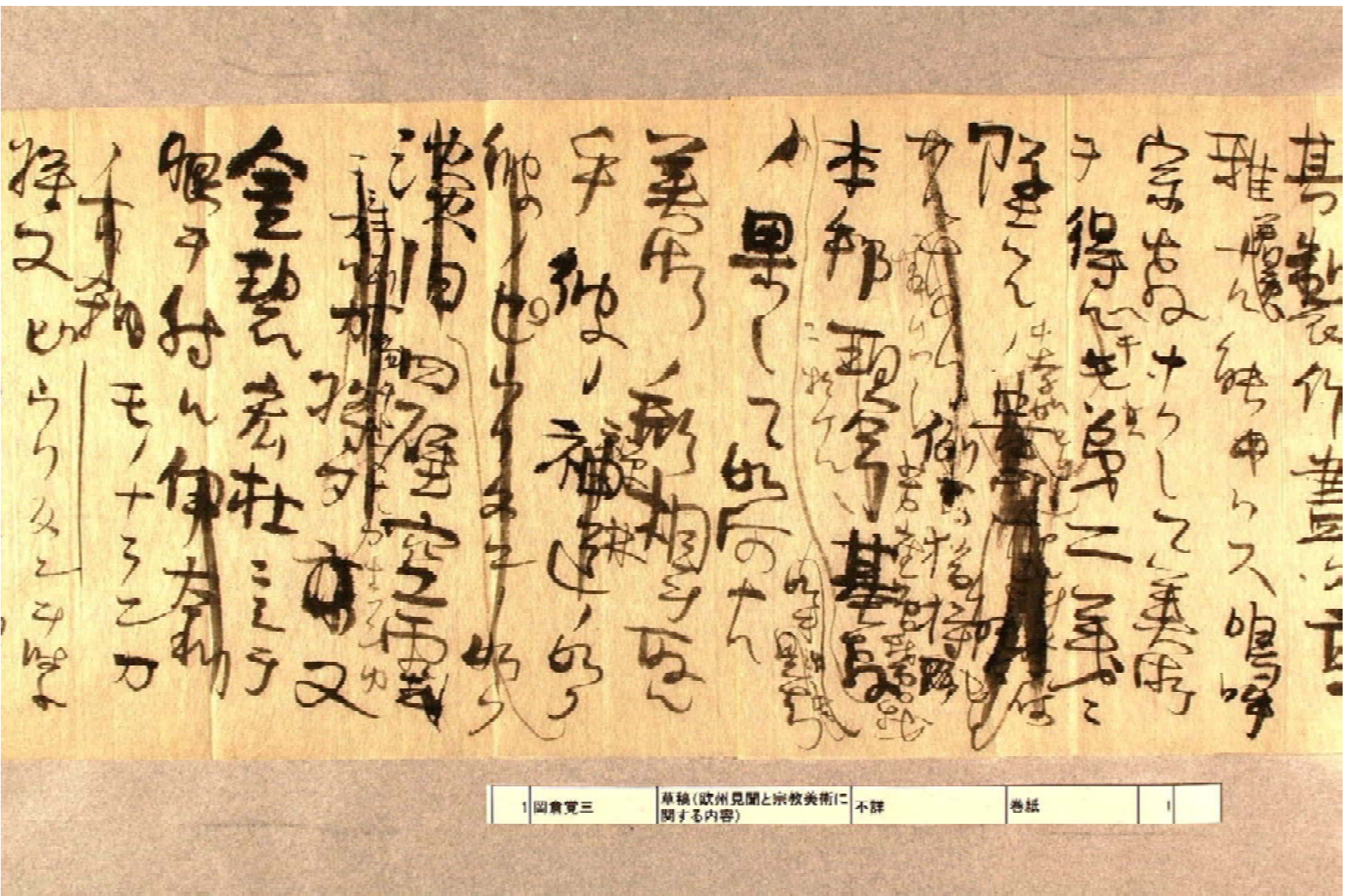
稱賛スルニ堪ヘサレトモ

惜矣哉 未ダ

疑惑ノ■世生連

其製作盡く高

雅 着実 ナル能ハス 嗚呼



宗教ナクして美術

ヲ得ヘキ 其 第二義二

墜ツルノ ■■■

憐ムベシ猶狩野芳崖 かつて 曾我

如キ ■■■
是ナリ

本邦ニ於ケル基督教

ノ果シテ如何ナル

美術ノ形相ヲ取ル

乎 彼ノ禅林ノ如ク

一行削除

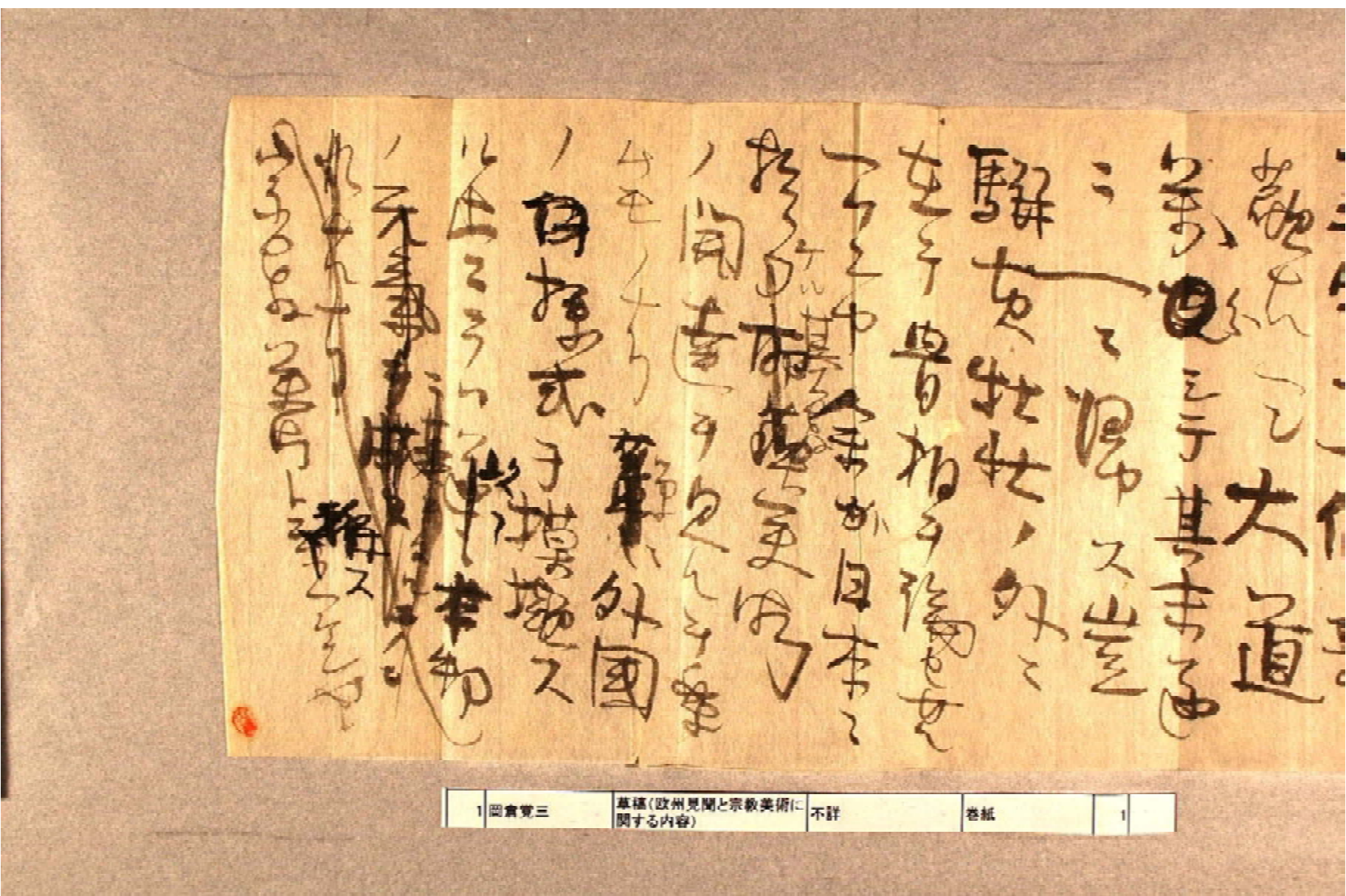
二字削除 四壁空靈

ナランカ
将 又

金碧宏壮ニシテ

眼ヲ射ル 三字削除

モノナランカ



駢真[?]牝牡ノ外ニ

在テ骨相^{こっそう}ヲ論セサル

ヘケンヤ 余ハ日本ニ

於ケル基督教美術

ノ開達ヲ見ルヲ樂

ムモノナリ單ニ外國

ノ様式ヲ模擬ス

ル止マラハ以テ本邦

ノ

宗教美術ト稱スベケンヤ

■ 不明文字。